



体育祭
2025. 10. 5



和歌山県教育委員会認可通信教育

発行所

和歌山県立きのくに青雲
高等学校（通信制課程）
和歌山市吹上 5-6-8

TEL073-422-8402

FAX073-422-4045

文化祭 11月2日(日)

- 9:00 集合（体育館）・開会式
9:10 人権講演
本校スクールカウンセラー
土井大地 氏
「自分の人権を守る」
10:10 和太鼓部演奏
10:45～12:20 模擬店・有志発表
（生徒ホール・3階学習室）
11:00～12:20 展示作品鑑賞（3階合併教室）
12:50 集合（体育館）
13:00 舞台鑑賞
ソプラノ歌手
大島久美子 氏
平和の歌と講演「みんな大切な命」
14:00 閉会行事
15:00 終了予定

※文化祭当日、校内は駐車禁止となります。

※本校生徒のみでの開催となります。

（事前に許可を受けている方及び本校通信制課程の生徒以外は
学校敷地内立入禁止）

今年度卒業予定の皆さんへ

2学期も半ばになり、卒業に向けて本格的に取り組む時期に
さしかかってきましたが、学習は進んでいますか。レポート学
習やスクーリングの出席は、年間行事予定表や校報をよく見て、
自分でしっかり計画を立てて進めましょう。

11月以降の日曜スクーリングはA・B・D型各2回ずつと
C型1回の計7回となっています。全て1型（総合探究）です。

月曜スクーリングは、「理科」「体育」が各3回、「国語」「地歴・
公民」「数学」「英語」「音楽」「美術」「書道」「家庭」「情報Ⅰ」「情
報応用」が各2回、「保健」「商業」が各1回になります。

各科目の必要なスクーリング時数を確認して、日曜スクー
リングの時間割の重なりや、月曜スクーリングの時間割を考慮に
入れながら、年度末に慌てることがないようにしましょう。

レポート・視聴票の提出締切日

令和8年1月26日(月) 16時必着

最終テスト週間

令和8年1月25日(日)～2月1日(日)

〈水・土曜日はなし〉

また、卒業までに必要な特別活動の時間数40単位時間も充
足されているか、担任の先生に確認しましょう。足りていない
人は、ホームルームだけでなく文化祭や学年行事等にも参加し
て充足させましょう。

11月の予定

日	スクーリング(型)と学校行事
2日	文化祭
9日	学年行事
16日	D1型・テスト・進路講演会
30日	A1型・テスト
●テスト日は10日(月)～17日(月)、30日(日) <水曜日と土曜日はありません> ●夜間テストは13日(木)<18時から20時まで>	

◇ Bコース(暮らしに役立つ書)

1班	2班	3班	4班	5班	6班
4日(火)	11日(火)	13日(木)	10日(月)	18日(火)	28日(金)

※予定が急に変更されることがありますので、学校のHPをこまめにチェックしてください。

日	1時限 13:00～13:50	2時限 14:00～14:50	3時限 15:00～15:50
10日	書道/家庭	国語	体育
17日	理科	音楽/美術	英語
●原則として合併教室で行います。●芸術は各芸術教室で行います。 ●体育は体育館で行います。			

スクールカウンセリング

28日(日)	14日(金)	16日(日)	30日(日)	10:30～	11:50～	12:50～	13:50～	14:50～
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

カウンセリングを希望する人は、担任を通して希望日・時間を予約してください。
きのくに青雲高等学校（通信制） TEL. 073-422-8402

スクールソーシャルワーカー(SSW) 来校日
11月2日(日)、14日(水) 詳しくは教頭まで。

令和7年度近畿地区高等学校通信制生徒生活体験発表大会

10月4日(土)、近畿各府県の通信制高校で学ぶ生徒が集い、本校から参加した2名が生活体験を発表して奨励賞を受賞しました。



「普通の人生」に憧れて

3年

「普通の人生」。そう聞いて、皆さんはどんな人生を想像しますか。少なくとも、数年前の私にとつてそれは、「普通に」全日制の学校に通って、「普通に」勉強して、「普通に」進学して、「普通に」「当たり前」に「皆がそうであるように」生きていく。そういうものでした。それが当然と思い込み、疑うことすらなく生きてきました。そして、自分もその通りに生きていくものと、生きていけるもの

だと思いついていました。

ところが、現実とは違いました。15歳。高校1年生になった私は、中学生の時にそうであったように、「普通に」学校に通っていきました。友人もでき、部活動にも精を出し、「普通に」生活を送っているつもりでしたし、実際に皆がそうであるように活動できていたと思います。

しかし、異変が起きました。夏休みが明け、新学期が始まったときです。私は、教室に行くことができなくなりました。朝、登校するところまではできるのです。どうにも足が重く、進むことができない。どうにか教室に辿り着き、授業を受けてもすぐにお腹が痛くなるなど、体調が悪くなるのが殆どになってしまいました。そして、トイレに籠もりきりで何時間も過ごし、先生方に心配をかけてしまうことすらありました。

異変はそれだけではありません。常に髪を触って、ブチブチ、ブチブチと抜いてしまうようになったのです。一日に何十本と抜いて、頭頂部の髪が薄くなりました。しかも、いくら意識しても、気をつけても、それをやめることができないのです。やめなさいといけません。そう頭ではわかっているのです。わかっているのですが、テスト中ですら髪を抜く手が止まらず、数回しか答えられないまま提出してしまふ、などということが起こってしまいました。自分では、制御が効かなくなってしまうのだと、これはおか

しいと、母に相談しました。

「精神科とか、心療内科とか、そういうのに連れて行ってほしい。テストにすら集中できへん。私はもうあかんかもしれん。」母は深くは聞かず、「わかった。」と言いました。

私は心療内科に連れて行ってもらいました。診断された病名は、「適応障害」。いじめられたわけではありません。まわりに嫌な人がいたわけでもありません。誰から見ても「恵まれた環境」でした。それなのに、「普通に」できない自分に、私は心底失望しました。そこから、私の長い長い闘病生活が始まります。

学校については、担任や保健室、スクールカウンセラーなどの先生方と相談し、欠課時数が規程を超えるまで保健室登校をさせてもらえることになりました。そして、超えてからもカウンセリグには通わせてもらえました。今思えば、周りの大人にとっても恵まれていたように感じます。

「普通の人生」を諦めきれない私でも、嫌というほどわかっていました。このまま、全日制の高校に通い続けることはできない。もう1年と挑戦したところで、きつと同じことになる。でも、どうしたらいいのか。悶々と考える私に、先生は提案してくださいました。

「定時制の学校はどう？」
それから、私はたくさん調べて、まとめて、話しあって、きのくに青雲高等学校の定時制課程に通うことになりました。

そこから、私の新しい生活が始まります。まわりが殆ど年下の中

で、学校に通いました。皆いい子ばかりで、友人もできました。部活動にも行つて、アルバイトも始めて。今度こそ、「普通に」。けれども、そこでもだめでした。私はまた、学校に行くことができませんになりました。

「どうして私にはできないの？」
「皆は当たり前でできているのに。」

「そもそも当たり前前って、普通って何？」

だんだん汚れていく部屋の中で、どんどん濁っていく心の中で、気づけば死ぬことだけを考えていました。不安の山に押しつぶされそうな毎日でした。

そんな日々も1年が過ぎ、私は定時制を去りました。学校には通えない。でも、高卒資格は欲しい。そう思つて、先生方の勧めもあり、今度は通信制課程に転籍しました。もう、後はありませんでした。通信制。私はそこで、人生が変わりました。いろいろな年齢の人がいて、いろいろな事情を持った人がいて。皆、私の思う「普通の人生」を歩めなかった人たちが。その中で私は、ごく「普通」でした。

通信制でようやく、私は学校に通うことができました。今までできなかった「当たり前」ができるようになりました。

私の病気が改善して行くにつれ、できることも増えていきました。勉強して、アルバイトに行つて、友達と遊んで。夜眠つて、朝起きて、ご飯を食べて。少しずつ、自分の「普通」を取り戻していききました。そしていつの間にか、消えたいと思うことはなくなりました。

た。

別に、大多数の人と同じ人生を歩まなくてもいいんです。自然体になければそれはもう「普通の人生」だと、今の私は考えています。

人は、いくらでもやり直せる。「普通に」生きていける。いくら欲しても得難かった私の「普通の人生」。それは今、ここにあります。

雨垂れ石を穿つ

3年

唐突ですが皆さんは、「過去」と聞くと、どのようなことが心に浮かびますか。私には辛い記憶ばかりが蘇ってきます。身体を蝕む病、思い出一つない中学生時代、それによって失われた日常。今、この場に立ち発表するまでになった私の人生の出来事を聞いてください。また、私の経験を通じ誰かの支えになれたらという想いから言葉を綴り発信したいと思っています。

中学生時代の私は、通信制課程では経験した方が多く居るであろう不登校の状態でした。まだ制服が大きく、初々しい気持ちの入学式。これからの期待を胸にワクワクしていたはずなのに、クラスメイトが大勢居る教室で体調を崩しました。血の気が引き、気持ちが悪く、心臓がバクバクしてその場に居ても立ってもいられない。その後診断されたのは思春期に多い起立性調節障害、また、全般性不安障害でした。生活リズム



インタビュー

教頭 田中 薫



本校の印象はいかがですか。

生徒たちがそれぞれの生活や目標に合わせて計画を立てながら、自分のペースで学習を進められるところが通信制課程の魅力であると思います。学習室や生徒ホールで静かに課題に向き合う姿勢からは、日々の小さな努力の積み重ねがやがて大きな力となっていると感じました。

また、ボランティアサークルを立ち上げたり仲間を誘って地域の活動に参加したりと、学校生活の中で積極的に行動する生徒も多くいます。その姿には、自ら新しい可能性を切り拓こうとする前向きな気持ちが表れており、通信制という学び方だからこそ育まれる自主性の一つの形だと感じています。

子どもの頃の夢は何でしたか。

絶対音感があるので、それを活かして音楽の道に進みたいという夢と、医師になって病気の人を救いたいという健康を支えたいという夢がありました。

教員になろうと思ったきっかけをお聞かせください。

大学は理系の学部だったのですが、一般企業に就職することも考えましたが、大学院生の時に母校で非常勤講師を2年間させていただき、生徒一人一人の成長を近くで感じられることに大きな喜びを覚えました。

授業を理解できたときに見せてくれた笑顔や、相談してくれたときの信頼関係の大切さに気づき、教員を志す決意につながりました。

学生時代の思い出などをお聞かせください。

大学3年生の時、友達と3人でテレビのクイズ番組に出演しました。そこで運良く優勝することができ、優勝賞金で副賞のハワイ旅行に友達と行ったことが思い出に残っています。

それがきっかけで、大学時代は海外旅行に出かける機会が何度かあり、そのためにアルバイト(家庭教師)で旅行代金を貯め、英会話教室に通って語学力を身につけるなどしたことで、良い経験になりました。

教員生活で印象深かったことなどをお聞かせください。

教員2年目に部員が3人のラグビー部の顧問になりました。部員の勧誘からスタートし、他校と合同チームを組んで何とか公式戦に出場できるまでになりました。

結局、部員は13人まで増えましたが単独チームを組むことは

叶いませんでした。それでも部員は合同チームとして結束し、公式戦で一勝できたことが忘れられない思い出です。

その高校から転動した後も今年の3月までラグビー部顧問を続けてきました。

また、17歳以下高校日本代表チームのスタッフとしてもお手伝いさせていただく機会があり、貴重な経験を積むことができました。

趣味は何ですか。

ラグビーと関わり、その魅力を感じています。

父と弟がどちらも元選手で現在は監督を務めているというラグビー一家で育ち、幼い頃から私の生活の一部でした。仲間を信じて楯円球を繋ぐ姿や、最後まで挑み続けるプレースタイルが魅力です。

ニュージールランドや日本のスタジアムで観戦した際は、迫力あるプレーや観客の一体感に、この競技が持つ力を改めて実感しました。

私にとって人生を豊かにする大切な存在です。

休日ほどのように過ごされていますか。

時間があればスポーツジムで有酸素運動や体幹を中心に鍛え、体力維持に努めています。週に1回は整骨院に通い、体内の細胞を活性化させ免疫力を高める施術を受けています。

また、気分転換にショッピングに出かけることが多いです。

生徒に伝えたい言葉があればお聞かせください。

ラグビー憲章には、「品位」「情熱」「結束」「規律」「尊重」という五つの価値観が示されています。これらは、全ての人々が心をつなげて一体感を持つ、すなわちOne Teamとなるための最も基本となる考え方です。

「品位」とは、誠実さと公平な心を持つことです。そうすることで、周囲から信頼される人になります。

「情熱」とは、仲間や目標に全力を尽くす心です。学びや活動に真剣に向き合うことで、熱中できる日々が生まれます。

「結束」とは、仲間と力を合わせて困難を乗り越えることです。協力する中で、絆はより深まります。

「規律」とは、ルールやマナーを守り、感謝を忘れず行動することです。秩序を大切にすることで、自分を成長させます。

「尊重」とは、相手の努力や気持ちやりを大切にするということです。思いやりを持つことで、互いの理解と信頼が広がります。

どのような場面でも、勝てば嬉しく、負ければ悔しいと感じることはあるでしょう。しかしラグビーでは、試合終了の笛とともに「ノーサイド」となり、全員が互いの努力と戦いを心から讃え合います。その姿勢はスポーツの枠を超え、人生においても大切な学びとなります。

皆さんがこれから歩んでいく中で、この五つの価値観のうち一つでも心に留め、日々を過ごしてくれることを願っています。

9/7 清掃ボランティア

本校から14名が「吹上公園除草・清掃ボランティア」に参加しました。

まだまだ残暑が厳しい中でしたが、地域の方と一緒に約1時間、公園の除草を行いました。始めた頃はいつ終わるのかという感じでしたが、1時間経つてみると見違えるように綺麗になり、頑張った甲斐があったと疲れも吹き飛びました。

終了時には、地域の方から「ありがとう」と何度もお礼を言っていたり、参加者は少し達成感に満ちた表情を浮かべていました。

ボランティアサークルは、今年の生徒総会で生徒会執行部から提案され発足したものです。

今回のボランティアは、地域の新吹上公園美化協力会の皆さんからのお声かけをいただき、サークル企画第1弾として計画したものです。

ボランティアサークルでは、今回のようなボランティアの企画やお互いのボランティア経験の交流、勉強会などを行っています。参加者は募集中です。詳しくは「生徒会だより」でお知らせします。



保護者懇談月間

9 月 1 日から 30 日にかけて保護者と担任で個人懇談を行いました。

51 名の保護者の方に来ていただき、生徒の学校や家庭での様子、学習進捗状況、進路等について懇談することができました。

家庭と学校をつなぐ貴重な時間となりました。

第 71 回和歌山県高等学校定時制通信制

生徒作品展示会

11 月 8 日 (土)、9 日 (日)

田辺市文化交流センター「たなべる」

定時制・通信制の生徒が作成した芸術作品を展示します。

ぜひ、見に来てください!!



秋の学年行事 11 月 9 日 (日)

学年	集合時間	集合場所	行き先
1 年生	9 時 50 分	J R 海南駅西口	藤白神社周辺 中野 BC 株式会社 海南 nobinos (ノビノス) 紀州漆器伝統産業会館 (うるわし館) 黒江の町並み散策
2 年生	10 時	和歌山電鐵 伊太祈曽駅改札前	伊太祈曽神社 四季の郷公園
3 年生	9 時 30 分	J R 黒江駅 改札口前	黒江の町並み 紀州漆器伝統産業会館 (うるわし館) 和歌山県立自然博物館 琴の浦温山荘園
4 年生	9 時	きのくに青雲高校 玄関前	寺町通り周辺の寺院 昼食づくり レクリエーション

黒江の町並み散策のなかで伝統文化産業に触れたり、和歌山県立自然博物館・琴の浦温山荘園や伊太祈曽神社・四季の郷公園で和歌山の歴史、文化、自然を感じる体験をしたり、寺町通り周辺の寺院巡り・昼食づくり・レクリエーションで交流を図る等々。今年も、学年それぞれに素敵な内容が予定されています。秋の一日、仲間と一緒に和歌山の魅力再発見の小さな旅に出てみませんか。

※詳細は校報 10 月号に同封した各学年の実施要項を確認してください。

進路講演会

日 時 11 月 16 日 (日) D1 型 15 時 10 分 ~ 16 時 00 分

場 所 合併教室

講 師 若者サポートステーションわかやま より

目 的 自らのキャリアについて考えながら 10 年先、20 年先といった将来を見通した進路決定ができる力を養う。

時間認定 総合探究 A B C のうちいずれか 1 時間、または特別活動 1 時間を認定します。

※状況によって形態や内容を変更する可能性があります。

第 2 回進路説明会

9 月 7 日、第 2 回進路説明会が「就職の部」「進学部の部」に分かれて実施されました。

参加者は、就職の部 30 名、進学部の部 (在校生対象) 23 名、進学の部 (卒業予定生対象) 21 名、総計 74 名でした。

就職の部

6 月の第 1 回進路説明会では、高卒求人と一般求人の特徴、就活の進め方、求人票の見方等について、就職に関する全般的な説明が行われました。今回は、それらを簡単に振り返った後、就職活動を進める手順、そして、特に履歴書の志望理由の書き方を中心とした内容でした。

まず、履歴書の志望理由欄については、限られた枠内に、志望理由をはじめ、やる気や熱意をどれだけ具体的に詰め込むことが出来るかがポイントであるとし、具体的な文章が多いなどといった悪い例を挙げ、それらの問題点を解決したもの仕上げるという趣向での説明でした。

そして、企業が特に求める人材は、「コミュニケーション力の高いい人」ということにも触れ、コミュニケーション力を養うための第一歩として、しっかりと元氣よく挨拶をすることから始めようと呼びかけました。人それぞれの特性もあるので、小さくてもいいから、自分なりの一歩を踏み出す勇気を持つてみてはどうかという内容でした。

進学の部 (在校生対象)

受験校を決めるポイントや入試パターンの概要、学部・学科分野と、そこで学べること等について説明しました。

受験校を決めるポイントは、自分の興味関心と適性、将来の職業との関連などで、進路決定までに十分な自己分析が必要となります。特に進学後に学業を継続する上ではその分野についての興味が大切です。また、今日では上級学校を卒業したらどのような資格 (または受験資格) を得られるのかも重要です。このためインターネット、オープンキャンパス等により上級学校の情報収集を十分に行ってください。

進学の部 (卒業予定生対象)

卒業予定生対象の進学説明会は、学校推薦型選抜 (公募・指定校)、総合型選抜、国公立大一般選抜・私立大一般選抜の主なスケジュールなどについて、より具体的に詳しい説明をしました。

それぞれの入試形態の特徴と受験生自身の得手不得手を考慮して、自分に合った受験スタイルを選択することが受験を有利に進めるポイントの一つとなっています。

なお、指定校推薦については、第 1 回の校内申込期間が過ぎても、まだ出願に間に合う上級学校については、申し込みがあります。次第、校内選考を行います。

在籍期間について

本校の在籍期間は 8 年度間です。

平成 30 年度入学の皆さんは、今年度末で学籍がなくなりますので、学習を続けたい人は担任に相談してください。

11月 日曜スクーリング・テスト 連絡掲示板

スクーリングに出席する際には、レポート・教科書・学習書・筆記用具・生徒証明書を必ず持参しましょう。
 の科目は1日に2回スクーリングを受けることができます。

テスト実施日時

※新たな科目のテスト受験受付は、テスト終了時刻の50分前までです。

	実施日	実施時間
平日	10日(月)・11日(火)・13日(木)・14日(金)・17日(月)	9:00～16:00 (受付は15:10まで)
1型	16日(日)・30日(日)	9:00～16:00 (受付は15:10まで)
夜間	13日(木)	18:00～20:00 (受付は19:10まで)

11月16日 D1型スクーリング

1	2	3	11:50 12:45	4	5	14:40 15:05	6
9:00～9:50	10:00～10:50	11:00～11:50		12:45～13:35	13:45～14:35		15:10～16:00
国語表現	体育(実技)	体育(実技)	昼 休 憩	保健	体育(理論)	H R ・ 清 掃	進路講演会 (合併教室)
数学Ⅱ	言語文化	公共 政治・経済		古典探究	日本史探究		
数学B	数学Ⅰ(2)	数学A		数学Ⅰ(1)	化学基礎		
科学と人間生活 2・4年生	家庭総合(2)	科学と人間生活 2・4年生		数学の広場	地学基礎		
地学基礎	情報応用	生物基礎		保育基礎	情報応用		
情報Ⅰ							

<連絡事項>

体育(実技) スポーツウェア・体育館シューズを持参してください。忘れた場合は出席できないので注意しましょう。

体育(理論)・保健 教科書・学習書を持参してください。忘れた場合は出席できないので注意しましょう。

科学と人間生活 B型・D型スクーリングは2・4年生が対象です。1・3年生は出席できないので注意しましょう。

情報応用 USBメモリを持参してください。

11月30日 A1型スクーリング

1	2	3	11:50 12:45	4	5	14:40 15:05	6
9:00～9:50	10:00～10:50	11:00～11:50		12:45～13:35	13:45～14:35		15:10～16:00
音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ 音楽Ⅱ・美術Ⅱ・書道Ⅱ 暮らしに役立つ書	音楽Ⅱ・美術Ⅱ・書道Ⅱ 暮らしに役立つ書	昼 休 憩	文学国語	地理探究	H R ・ 清 掃	総合探究
応用国語	倫理	現代の国語		歴史総合	科学と人間生活 1・3年生		
世界史探究	英語コミュニケーションⅠ(1)	地理総合		物理基礎	論理・表現Ⅱ		
物理基礎	フードデザイン	論理・表現Ⅰ		英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ		
英語コミュニケーションⅡ(2)	財務会計Ⅰ	簿記		家庭総合(1)	ビジネス基礎		

<連絡事項>

4限の家庭総合(1)は被服実習です。事前申込みした生徒のみ出席できます。

美術Ⅰ・美術Ⅱ 各自の進度に応じて準備してください。

書道Ⅰ・書道Ⅱ 書道の用具(大筆・小筆・半紙・墨)を持参してください。忘れた場合は出席できないので注意しましょう。

暮らしに役立つ書 書道の用具(小筆・半紙・墨)を持参してください。忘れた場合は出席できないので注意しましょう。

科学と人間生活 A型・C型スクーリングは1・3年生が対象です。2・4年生は出席できないので注意しましょう。

総合探究A 視聴覚教室で行います。

総合探究B 実習は事前申込みをした生徒のみ出席できます。はさみ・のりを持参してください。207教室で行います。

総合探究C 第2回レポートを持参してください。210教室で行います。

<総合探究のテーマ>

A 世界各地の食文化 B エコ実習 C 数学解説

学校敷地内及び学校付近は
喫煙できません。

特に学校付近での喫煙は、
近隣住民の皆さんに迷惑となります。



きのくに青雲高校生以外
学校敷地内立入禁止



登校時には必ず
生徒証明書を携帯しましょう。

*スクーリング・テスト受験時には机上に置きましょう。
*忘れた場合は担任に「仮生徒証」を発行してもらいましょう。



自転車に乗るときは安全のために
ヘルメットをかぶりましょう!

事故の被害を軽減することができます。
ヘルメットは、正しく着用しましょう!

